

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-45983
(P2018-45983A)

(43) 公開日 平成30年3月22日(2018.3.22)

(51) Int.Cl.

F 21 L 4/00 (2006.01)
F 21 V 21/08 (2006.01)

F 1

F 21 L 4/00
F 21 V 21/08

テーマコード(参考)

500
300

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願2016-196024 (P2016-196024)

(22) 出願日

平成28年9月13日 (2016.9.13)

(特許庁注:以下のものは登録商標)

1. マジックテープ

(71) 出願人 503299343

森田 知男

埼玉県川越市上戸109-18

(72) 発明者 森田 知男

埼玉県川越市上戸109番18号

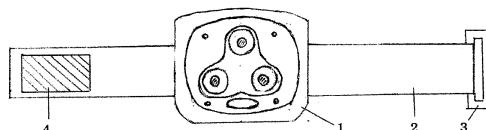
(54) 【発明の名称】腕時計型懐中電灯

(57) 【要約】

【課題】 災害時の備えの一環として、懐中電灯が使いやすいように腕に固定できる腕時計型懐中電灯を提供する。

【解決手段】 懐中電灯(1)に紐(2)を設け、その紐の片一方に角カン(3)を設け、もう一方にマジックテープ(4)を設けた腕時計型懐中電灯を特徴とする。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

懐中電灯(1)に紐(2)を設け、紐の片方に角カン(3)を設け、もう一方の紐の表面にマジックテープ(4)を設けた腕時計型懐中電灯。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この発明は、懐中電灯に角カンとマジックテープがついた紐を取り付けた腕時計型懐中電灯に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、懐中電灯は、手で持つか、頭部にかけていた。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】****【特許文献1】****【発明の概要】****【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

これは、次のような欠点があった。

従来、懐中電灯を就寝中の備えとして、枕元か、その周辺に置いて寝るが、突発的な地震等の災害があると、見つけにくく、困ることが多かった。

本発明は、このような欠点をなくすためになされたものである。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

懐中電灯(1)に紐(2)を設け、その紐の片方に角カン(3)を設け、もう一方にマジックテープ(4)を設ける。

本発明は、以上の構成よりなる腕時計型懐中電灯である。

【発明の効果】**【0006】**

この懐中電灯を腕につけて就寝することにより、突発的な地震等の災害の際、探す手間が省け、瞬時に明かりをつけることができる。

【図面の簡単な説明】**【0007】**

【図1】 本発明の正面図である。

【図2】 本発明の背面図である。

【発明を実施するための形態】**【0008】**

以下、本発明を実施するための形態について説明する。

懐中電灯(1)に紐(2)を設ける。紐の片方に角カン(3)を設ける。紐のもう一方の表面にマジックテープ(4)を設ける。

腕に懐中電灯(1)をのせ、マジックテープ(4)がついた紐を角カン(3)に通して腕に固定する。

本発明は、以上のような構造である。

これを使用する時は、懐中電灯を腕に固定して就寝することにより、地震等の突発的な災害の際、瞬時に明かりをつければいい。

【符号の説明】**【0009】**

1 懐中電灯

2 紐

10

20

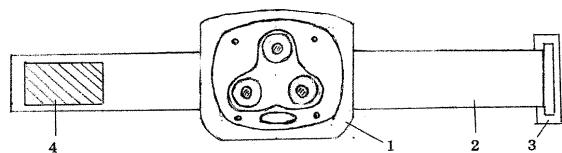
30

40

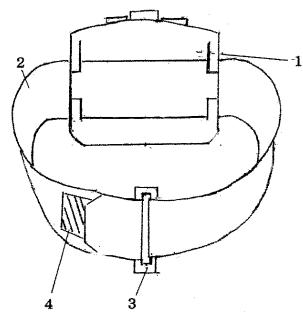
50

- 3 角カン
4 マジックテープ

【図1】



【図2】



1 懐中電灯 2 紐 3 角カン 4 マジックテープ